

- 会議名 令和7年度 第3回八雲町社会教育委員会議
- 日時 令和7年12月18日(水) 午後6時30分～午後8時00分
- 場所 八雲町公民館 第1・2集会室
- 出席委員 13名
植田資世、林聖、鈴木馨、小林元彦、小出政彦、林時正、前川伸也、小野礼子、中田拓希、桶谷恵理子、田村綾子、寺田裕、長谷部修
- 説明員 教育長、社会教育課長、社会教育課長補佐、社会教育係長、文化財係長、熊石教育事務所教育推進係長

*傍聴者なし

《会議録要旨》

・委嘱状交付

- 1 開 会 社会教育課長
- 2 あいさつ 八雲町教育委員会 教育長 西田 浩人
- 3 自己紹介
(出席委員自己紹介、出席職員自己紹介)

4 説明事項等

- (1) 八雲町社会教委員について

○説明員より説明。

- (2) 八雲町社会教育委員正副委員長の選出について

○説明員より説明。

委員長：小出政彦氏、副委員長：小林元彦氏を選出して決定。

- (3) 八雲町社会教育委員の部会構成

○説明員より説明

事業部会に植田委員、鈴木委員、小林委員、小野委員、田村委員、長谷部委員の6名を選出。

団体育成部会に林（聖）委員、小出委員、林（時）委員、前川委員、中田委員、桶谷委員、寺田委員の7名を選出。

3 議 題

(1) 令和7年度 社会教育課・熊石教育事務所所管事業実施報告について

○説明員より説明。

委員～「英語で遊ぼう」の事業について、前回の会議では11月開催予定となっていたが今回は未定に変わっている。おおよその予定は決まっているのか。

説明員～当初は冬前という事で11月あたりを検討していたが、講師との日程調整の中で、11月に開催できなかった。そのため未定はなっているが、昨年度と同様に2月か3月での開催を想定して講師と日程を調整している。

委員～YOU・遊・クラスが、応募少数により中止となっているが、申込は何名だったか。

説明員～今年は2～3名の申込。昨年度までは参加者の年齢制限は付けていなかったが、今年は若い人にぜひ参加して欲しいという事で、年齢を40歳未満で募集した。それが直接的な要因かどうかは分からないが、結果的に申し込みが2～3名であったため中止とした。

委員～自分はこの事業の対象年齢だが、案内はどのように出しているのか。

説明員～事業については、町ホームページ及び町公式LINEにて周知した。また、町内で若い人が働いている職場や、転勤者が多いと思われる職場などへ直接チラシを配布していた。40歳未満の方全員に個別での案内は送付していない。

委員～例えば、商工会青年部や青年会議所、若人の集いなど、若い人たちが集まっている団体宛に案内を出せばもっと効率的に参加者を集められるのではないか。

委員～募集方法をもっと工夫した方がいい。せっかく若い人がいるのだから、もっと活動してほしい。それをきっかけに次の段階に進んでいって

もらえればと思う。

委員～八雲町平和学習事業について、中学校での報告会を聞かせていただいたが、せっかくなので、その学習の成果を、町の広報等を使ってもう少し全町にPRしていただける場があるといいと思った。図書館や公民館で原爆資料の展示等も行っているの、そのような場を使いながら、平和学習で派遣された生徒の学習成果を伝えていただければいいと思う。また、以前話しと思うが、広島だけではなく長崎も忘れてはいけないと思う。予算の関係もあると思うが、例えば隔年で広島と長崎を交互に派遣するというような工夫はできないか。

説明員～平和学習事業では中学生5名が、8月5日から7日までの期間で広島県を訪れ、平和祈念式典を中心に様々な見学や学習を行っている。生徒たちは戻ってきてから、8月15日に開催される町の戦没者慰霊式典において、平和の誓いを発表し、現在、まだ完成しておりませんが、報告書を作成して、図書館へ配置し誰でも閲覧できるようにしている。また、各学校においては、委員のお話のとおり報告会を行っている。図書館で報告書が閲覧できるという事をまだ知らない町民もいると思うので、成果を町民に伝えるものを周知することも含めて考えていきたいと思う。また、長崎に行ってはどうかというご提案については、予算の事もありますが、色々検討した結果広島とした。来年度についても広島という事で計画をしているが、それ以降については長崎も含めて検討させていただきたい。

委員～公民館パソコン講座について、昨年度は5講座延べ93名となっており、今年度は応募少数で中止となっている。時代も変わってきているので、内容についても、例えばエクセル、ワード、パワーポイントですという基本的なものではなく、それをもっとクリエイティブな内容に変更し、若い人たちも集まるようにできればいいのではと思った。今、話が出ていましたけれども、事業の周知をうまく伝えるために、例えばパソコン講座に来た若い人に告知のものを作ってもらうなど、そういう工夫はあってもいいのかと思う。自分は吹奏楽をやっているが、一緒にやっている中には中学生もいて、その子どもたちがポスターを作ってくれたりしており、子どもたちの発想力はとてもあると思う。なるべく若い世代にはパソコンに興味を持ってもらい、今はパソコンも事務仕事をするだけではなく、創造する道具が変わってきているので、講座の内容を見直して、魅力ある講座に変えていくのも一つの方法ではないかと思う。

委員～対象年齢を絞った企画というのも考えていかなければならないのかもしれない。

説明員～パソコン講座について、全て中止という近年には無いような結果になった。実はコロナ後に、もうパソコンの需要は無いのではないか、スマホの時代ではないかという事を考えましたが、募集したところ高齢者の方などから申し込みがあった。内容は初心者向け講座だったが、需要があるという事でここ数年は続けてきた。昨年度までは、募集すると毎年違う方から申込があったが、今年は講座によっては申込が全く無かったものもあった。委員のお話のとおり、年齢、年代によってはまだまだ学びたいという人がいる可能性もあるのか、今年1年だけでは判断が難しいと考えている。しかし、どちらにしてもそれぞれの年代によって求めるものは違いますので、そのような要望に応えられるような講座を開催できればいいと思うが、講師がなかなか見つからないという事もある。委員の皆様も情報があれば、ぜひお寄せいただきたい。

委員～パソコン講座の話の中で、スマホという話も出ていたが、年配の方でももっと便利にスマホと使いたいというニーズはあると思うので、スマホの使い方とか、例えばスマホで上手に写真を撮るにはというのも面白いのではと思う。

もう1点、ミニ金魚ねぷたづくり講習会とあんどん型山車づくり講習会について、どちらも秋に実施していますが、金魚ねぷたというのは青森に住んでいる人にとっては夏のものであり、山車の絵の描き方というのも、山車行列の前に持ってきた方がタイムリーだと思う。ただ、ねぷた師は夏は忙しいので、交渉して春とかに来ていただく事はできないだろうか。

委員～パソコン講座について、普段生活をしていて、周りの父母世代の人で、パソコンを持っていない人やエクセルが使えない人は結構いる。最近では年賀状をやめますというはがきをもらう事がとても多く、それこそ年賀状作成講座とかの需要は無くなっていくのかなと思う。先日、自分の所属する町内会で携帯電話の会社の方に来ていただき、スマホの使い方講座をしてもらった時に、初めて自分の妻がグーグルマップの使い方を知らない事を知って驚いたが、もっと掘り下げていけば需要は見つかるのではないかと思った。

説明員～スマホの使い方、例えば写真の撮り方という内容はどうかというお話でしたが、教えてくださる方がいれば、写真の撮り方というのも考え

ていけるのかと思う。また、パソコンを使わない世代、スマホ世代に向けたアプリの使い方というのは、パソコン講座の代わりになるかということについては、町内に店舗もあり、そこで無料で実施しているものもあるようなので、そのような事を学べるといった情報を提供するののも一つだとは思う。どのような人たちが何を求めているのかというのを考えるのは大事な事だと思う。

ミニ金魚づくり、あんどん型山車づくり講習会については、教育委員会主催ではありますが、一緒に事業を企画・運営していく主管団体もありますので、相談しながら、今のご意見も合わせて検討していきたい。

(2) 令和7年度 八雲町社会教育委員各部会等活動報告・計画について

○説明員から説明。

◆質疑 特になし

(3) その他

- ・説明員より、本日の配布資料、各部会における部会長、副部会長選出の流れおよび来年1月開催予定の総務部会について説明。

4 閉会